

■ 構想内容

京浜臨海部は、重化学工業等を中心とした産業集積ゾーンとして、日本経済を牽引してきましたが、産業構造の転換に伴う企業の再構築や生産機能の県外及び海外への移転などにより、産業の活力が著しく停滞してきています。

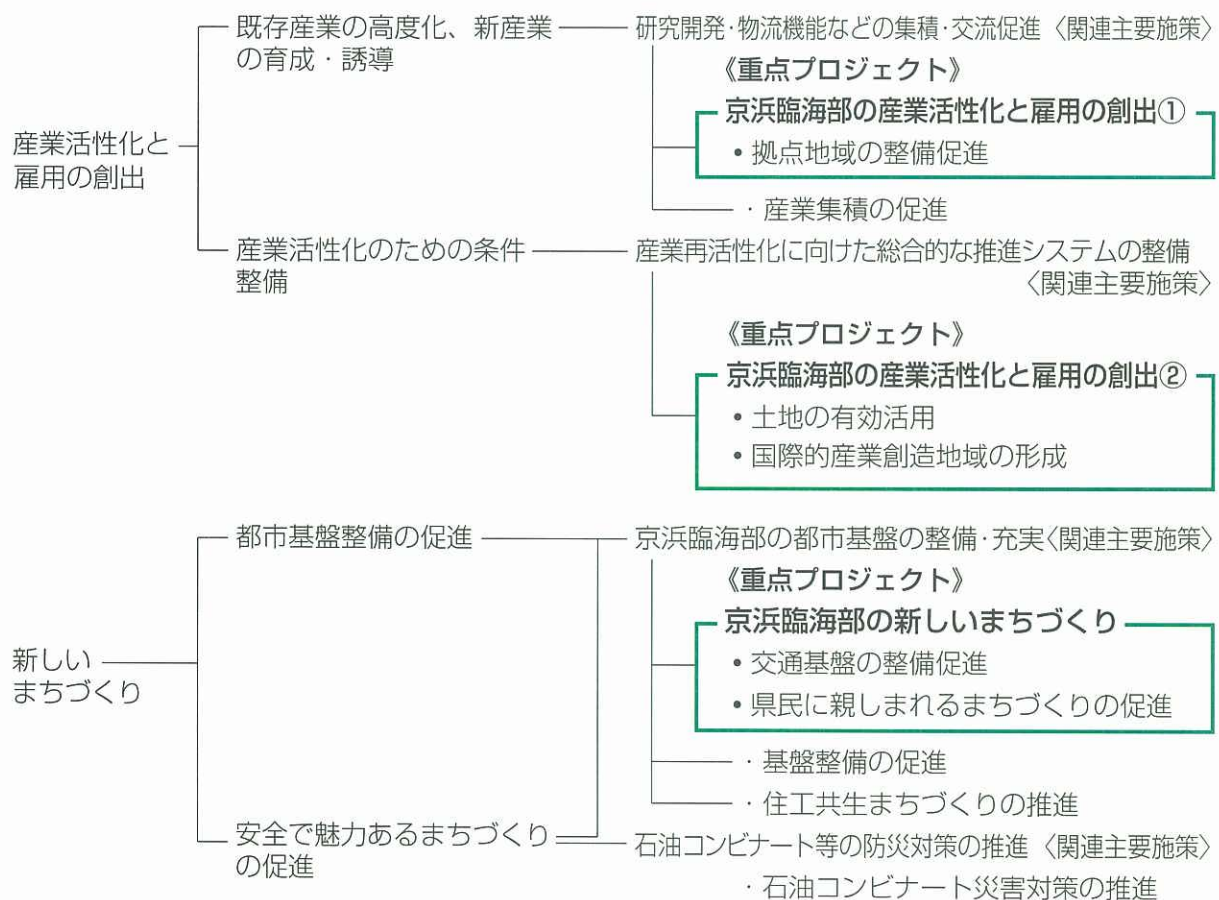
しかし一方で、京浜臨海部は、大消費地である首都圏に立地し、これまでに蓄積された技術・人材・資本などや、高速道路など交通網の整備、国際的港湾機能を持つ横浜港、川崎港に見られるような、産業活動にとって良い条件を有しています。

そこで、これらの諸条件を生かしながら、既存産業の高度化、新製品や商品開発などを行う研究開発型企業の集積、新時代にふさわしい産業を生み出すことで産業を活性化するとともに、雇用の場を創出していきます。このために、拠点の整備や、土地の有効活用を図ったりするほか、アジアをはじめとする国際的な産業ネットワークを形成し、21世紀の国際社会に貢献する産業ゾーンへの転換を図ります。

さらに、京浜臨海部を活性化するためには、働きやすい環境や地域の皆さんがくらしやすい環境の整備を図っていく必要があります。

そこで、企業や、横浜市・川崎市の両市とも協力しながら、鉄道等の交通基盤の整備や環境・防災にも配慮したまちづくりを促進し、県民の皆さんに親しまれる新しいまちづくりをめざします。

■ 政策展開の方向



働きやすく生活しやすい緑のまち



京浜臨海部

〈ねらい〉

京浜臨海部を神奈川経済の発展を支える産業集積地域として活性化し、併せて雇用創出の場とするため、再編を先導する拠点地域の整備促進、工場跡地等の有効活用や企業誘致の促進を図ります。

さらに、この地域の持つポテンシャルを活用した国際的な産業創造地域の形成をめざします。

〈構成する施策と展開の方向〉

(1) 拠点地域の整備促進

- 環境関連や情報ソフト関連などの新たな産業を育成するとともに、大企業と中小企業などの企業間や企業と大学・研究機関等が交流・連携する拠点地域の整備を促進します。

(2) 土地の有効活用

- 遊休地の有効活用、環境・防災対策のために、国や企業と連携した土地活用とともに、企業誘致の促進を図ります。

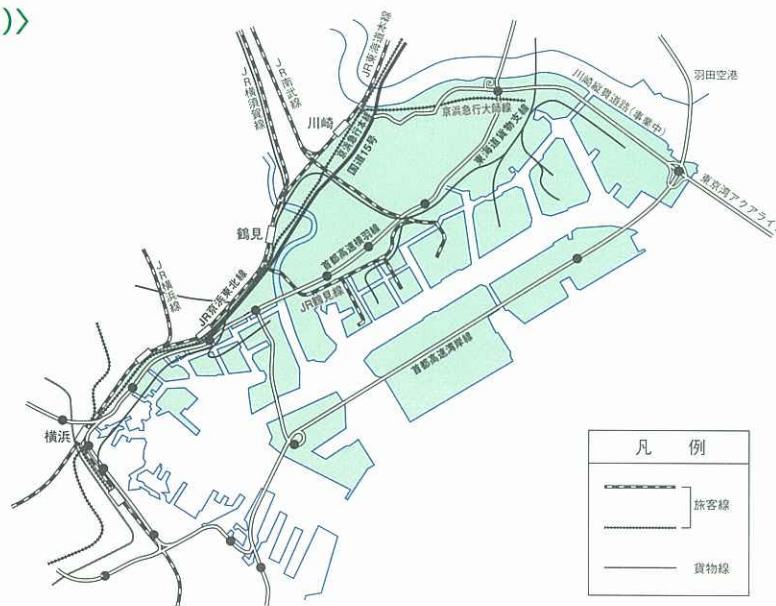
(3) 国際的産業創造地域の形成

- 京浜臨海部の持つポテンシャルを生かして、国際的な産業創造の拠点づくりをめざします。

〈実施プログラム〉

構成施策	主体	施策実施年度				3年間計(2000～2002)
		2000	2001	2002	03以降	
(1) 拠点地域の整備促進 <ul style="list-style-type: none"> 研究開発拠点(鶴見区末広町地区)の整備促進 手塚治虫ワールドかわさき(川崎市浮島地区)の整備促進 	県、市、民間	■				ゲノム科学総合研究センター※、横浜市立大学連携大学院、産学共同研究センター等拠点地域の形成 事業主体の設立、PRの強化
	県、市、民間	■				
(2) 土地の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> 工場跡地等の有効活用促進 企業誘致の促進 	県、市、民間	■				国の事業等を取り込んだ土地の有効活用の促進 支援策の充実と積極的なPR
	県、市、民間	■				
(3) 国際的産業創造地域の形成 <ul style="list-style-type: none"> 国際的産業創造の拠点づくり 	県、市、民間	■				アジア経済圏との交流を視野に入れた国際的産業ネットワークの形成に向けた事業の推進

〈京浜臨海部(位置図)〉



※ゲノム科学総合研究センター…遺伝子、ゲノム、タンパク質の構造と機能に関する研究を体系的、総合的に行う施設。

〈ねらい〉

京浜臨海部において、道路、鉄道などの交通基盤の整備や緑地の拡大、親水空間の形成など、環境・防災対策を図ることが大きな課題となっています。

そのため、京浜臨海部の活性化を促進する広域的な交通基盤として、東海道貨物支線の貨客併用化や首都高速道路の整備を促進し、京浜急行大師線連続立体化への支援などを行うとともに、防災まちづくりの調査・検討等を行い、県民の皆さんに親しまれる安全で魅力あるまちづくりの実現をめざします。

〈構成する施策と展開の方向〉

(1) 交通基盤の整備促進

- 京浜臨海部の活性化と既存鉄道路線の混雑緩和の役割を担う広域的な交通基盤として、東海道貨物支線貨客併用化の実現に取り組みます。
- 交通渋滞の緩和など地域環境の改善と京浜臨海部のポテンシャル向上に寄与する京浜急行大師線連続立体化への支援を行います。
- 京浜臨海部の幹線道路である首都高速道路の整備を促進します。
- 京浜臨海部の交通ネットワークの充実・強化を図るため、新たな交通システムの調査・検討を行います。

(2) 県民に親しまれるまちづくりの促進

- 環境・防災対策を図るため、事業所の緑地開放等を促進するとともに、防災まちづくりの調査・検討等を行います。
- 県民の皆さんに親しまれる京浜臨海部をめざし、2001年を京浜臨海部の新生元年として各種イベントの開催を含む様々な事業展開を図ります。

〈実施プログラム〉

構成施策	主体	施策実施年度				3年間計(2000~2002)	
		2000	2001	2002	03以降		
(1) 交通基盤の整備促進	東海道貨物支線貨客併用化の促進	県、市	■	■	■	■	事業化の調査検討、協議会活動の推進
	京浜急行大師線の整備促進	県、市、民間	■	■	■	■	鉄道ネットワークの調査・検討(東海道貨物支線等との連絡による活性化の調査検討)、建設費補助(地下化、連続立体化による輸送力増強に向けての本格着工)
	首都高速道路の整備促進	首都高速道路公団	■	■	■	■	首都高速道路公団への出資
	新たな交通システムの調査・検討	県、市、民間	■	■	■	■	新たな交通システムの可能性等の調査・検討
(2) 県民に親しまれるまちづくりの促進	防災まちづくりの検討	県、市、民間	■	■	■	■	防災まちづくりの検討・調査、防災広場(緑地空間)の整備の検討
	2001年京浜臨海部新生元年事業	県、市、民間	■	■	■	■	各種イベントの実施